



古中だより「坂道」

〈めざす生徒像〉

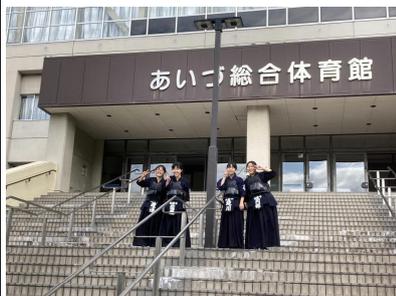
- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和7年度 第37号

11月13日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 大高 文雄

剣道女子「県新人戦」終わる



8日(土)は、会津若松市で「令和7年度福島県中学校剣道選抜大会」が行なわれ、団体の部に女子剣道部が出場しました。

団体戦には5人(先鋒・次鋒・中堅・副将・大将)必要ですが、本校は4人。戦う前から「1敗が確定」しているのではないかと思います。特に、最初の2人は、「最低でも引き分け」に持ち込まないと、試合が決まってしまうので、責任重大です。そのような中、一人ひとりが最後まで良く戦いました。

初戦敗退という結果に終わりましたが、県大会の舞台に立ち、その独特の雰囲気を感じたり、強豪校と手を合わせた経験を、今後の練習に生かし、来年の夏も県大会に出場できるように精進してほしいと思います。

卓球男女「県大会出場へ！」



8日(土)、9日(日)の両日は、須賀川市で卓球の「県南中学生新人卓球大会」が行われました。岩瀬郡を含んだ大会なので出場枠が多い分、参加校も多く激戦となりました。

初日は、男女別、学年別の個人シングルス戦が行われました。参加人数が一番多かったのは、2年男子で120名を超えていました。この中を、本校生徒は、ベスト8まで2名進みました。準々決勝で惜しくも敗れましたが、それでも十分

立派な成績だと思います。

翌日は、団体戦が行われました。男女とも予選リーグを突破しましたが、決勝トーナメントで敗れてしまいました。

最終結果は、男子が第5位(第7代表)、女子も第5位(第5代表)となり、県大会への出場権は確保しました。順位ほど、力差があるようには見えなかったのですが、22日(土)に県大会に向けて気持ちの面から立て直し、大会に臨んでほしいと思います。



これで、すべての部活動の新人戦が終了し、団体では、ソフトボール部、女子剣道部、男子卓球部、女子卓球部の4つの団体が県大会出場となりました。部員不足の中、「チーム古中」は本当によく頑張っていると感じるばかりです。

「芸術鑑賞教室」終わる



12日(水)の午後は、「令和7年度文化庁学校巡回公演事業能楽セレクションの本公演」でした。

9月の事前学習(ワークショップ)では、「三番三(さんばそう)」の舞(踊り)の一部と、大鼓と小鼓の楽器体験を行いました。これは、本公演でプロの方達と共演

するためのものでした。そのため、各学級の代表生徒が練習に励み、その成果を披露しました。短い時間でしたが、プロの方達共演できたことは、良い思い出になったと思います。



後半は、狂言の演目の中でも有名な「附子(ぶす)」を鑑賞しました。所々で、思わず「クスッ」となる面白い場面が見られ、中学生でも十分に楽しめることができたので、今までよりもずっと身近に「能楽」を感じることができたと思います。これを機に、様々な日本の良き歴史や文化に触れて自身の感性を磨いてほしいです。